

とよつだより

第 3 0 号
 平成25年11月1日発行
 一編集・発行一
 豊津地区まちづくり委員会
 (広報記録専門部)

豊津のみんなで楽しみました♪

第八回 とよつふれあい運動会

平成二十五年十月十二日、素晴らしい秋晴れの中で行われた「第八回とよつふれあい運動会」。未就学児から高齢者まで、多くの参加者・応援者で盛大に盛り上がり、楽しい一日になりました。今年の地区対抗は、昨年に引き続き、新田区が嬉しい優勝をかざりました。皆さん、お疲れ様でした。



「第八回とよつふれあい運動会」を終えて
 大会長(小学校校長) 幡谷 栄

「この笑顔 みんなにつなが
 豊津の子」というテーマのもと、「第八回とよつふれあい運動会」を盛会に実施することができました。参加・観覧された多くの皆様はじめ、大会開催関係者の方々に感謝申し上げます。さて、今回は前記のテーマのように子ども達の笑顔が随所に見られ、それが地域の方々の大きな力になったような気がしています。この運動会を通して、地域の輪が広がり、子ども達が未来に羽ばたく大きな礎になったように思います。

☆ 成績 ☆

優勝	新田区
準優勝	大船津第1区
第三位	爪木区 A



優勝コメント

新田区副区長 内田 早苗

秋晴の下、第八回ふれあい運動会が盛大に行われ、我が新田区はみんなの協力の中、「玉入れ」・「食いしんぼう」・「パンざい」・「つなひき」と良く頑張りました。優勝となりました。しかも、昨年に続き二連覇でした。これも地区のみんなの絆・協力の賜物。これからも地区の絆を確かなものにしたと思えます。開催関係者の方々、子ども達、地区の皆さん、御苦労様でした。

地域の輪!

▼優勝した新田区チーム



お父さんがクイズチャンピオン!
 賞品の素晴らしい自転車を、小学生の息子が嬉しい初乗り!

楽しく朗らかに敬老会

←参加された新敬老者

まだ残暑が残る九月十五日、『平成二十五年度豊津地区敬老会』が、百二十九名と多くの方の参加のもと、新仲家で開催されました。今年度の豊津地区の対象者（昭和十七年四月一日以前に生まれた方）は二百九十一名（男性百二十一名・女性百七十名）で、米寿（八十八歳）は八名、喜寿（七十七歳）が十九名、新敬老者（七十二歳）は十八名いらっしゃいました。

第一部では、米寿・喜寿の方々へ記念品の贈呈や来賓からのお祝いの言葉、敬老者代表のあいさつなどがあり、第二部では、豊津小児童による作文発表や地域の方の歌と踊り、新敬老者の自慢の喉の披露、歌謡ショーと賑やかに終わりました。中でも、「YOSAKOIとよつ」の皆さんによる踊りでは、会場が拍手と掛け声で一体となり、楽しい時間を過ごしました。



【敬老会メモ】

- 鹿嶋市の敬老者〓九九六五名（市人口の約十五%）
- 鹿嶋市の最高齢〓一〇三歳
- 豊津地区の最高齢〓九八歳（浜田かねさん）

とよつキッズ活動中

今年も「とよつキッズ」は、いろいろな事業に取り組んでいます。今回は、体験学習と移動教室を紹介します。

●体験学習（七月二十四・二十五日）

昨年に引き続き、一泊の体験学習を行いました。今年は白浜少年自然の家でバーベキューやホテルの観察、ピザ・ポトフ作りを体験しました。

※参加〓二十一名（子ども十三名）

【参加者の感想】

・ピザがおいしかった。夜こっそり女子の部屋へ行ったのが楽しかった。いろいろな話が面白かった。

・体験学習が面白かった。夜起きているのが楽しかった。お風呂が豪華だった。（君和田理澄）



●移動教室（八月六日）

茨城県霞ヶ浦環境科学センターで、北浦と流川のの水の水質検査をし、つくばエキスポセンターを見学してきました。

※参加〓三十一名（子ども十一名）

北浦の水は、大船津・新田・爪木の三ヶ所を取りましたが、どれもあまりきれいではありませんでした。流川の水はそれに比べると比較的きれいで、透明でしたが、汚れ具合を化学的に測定するといずれも同じ汚れ具合なのが意外でした。



流川に浄化看板を新たに設置

六月十八日、流川に新しく「環境浄化」を啓発する看板十枚を設置しました。今までの看板は四年前、豊津小児童が作成・設置したものでしたが、塗装がはげ落ちて見にくくなってしまったので、再度、環境浄化を呼び掛けようと、新たに同小児童が絵を描いて、豊津まちづくりセンターが設置したものです。

流川の水路も、震災で被害を受けましたが、今年度、改修工事が行われ、きれいに完成しました。

私たちの流川にいつまでもきれいな水が流れ続け、毎年、ホタルを楽しめることを期待します。



健康習慣実践講座

七月二十七日、高齢者教室事業で「健康習慣実践講座」を行いました。始めに歯科衛生士による口腔教室では、口の動きを高める話や歯ブラシを使用して正しい歯磨きの仕方や口の体操（歯つらつ体操）の実技、それからステップ体操と盛り沢山の内容でした。（二十一人参加）

口の元気は、身体の健康や老化防止、生きがいに深く関わっています。現在、誤嚥（ごえん）性による肺炎で亡くなる高齢者が多いことから、口腔ケアで口の健康度を高めておくと、重大な病気の予防につながることも教えてもらいました。

これからますます元気に健康な生活を送るためにも、日頃から意識して取り組むことの大切さを感じました。



とよつかるためぐり（番外編）

十月二十日、レッツウオーキング（かるた巡り）立ち恵比須・お薬師さま（を）を実施しました。あいにくの天候で、車での移動に変更しましたが、二十一名が地域の貴重な文化を訪ねてきました。

まず、爪木のお寺（最勝院）で、お薬師さま（医薬を司る仏様）と六地藏（六体の地藏菩薩）、淡島様（女性の守神）を、そして近くにある道祖神（旅人の守神）をお参りしました。お薬師さまでは、一月八日と十月八日の毎年二回、『薬師如来祭』が行われ、護摩がたかれるそうです。



▲薬師如来像

その後、四谷にある森の稲荷を経て、須保居町にある立ち恵比須へ。地元の飯島委員長から立ち恵比須についての簡単な説明を聞き、「文化を守る会」の皆さんによる『お酒もり』が披露されました。立ち恵比須では、毎年十月に祭事が行われているとのこと。



▲森の稲荷



（つぶやき）

この「とよつだより」も今回で三十号を数えます。年三〜四回の発行ですので、かれこれ十年になります。歴代広報記録部員が、まちづくり委員会の活動を、地域の皆様にわかりやすくお知らせすることを目標に頑張ってきた結果だと自負しています。

今後も、地域の喜びや楽しみ等をお知らせしていきます。誤字脱字等もあろうかと思いますが、引き続き寛容な心でお付き合いのほどよろしくお願い致します。

（F）